



「げんき・ゆうき・ほんき」で、未来に生きる力を伸ばす

# 武庫の里

発行 令和3年6月1日  
尼崎市立武庫の里小学校  
校長 伊藤 吾郎

学校だより

HPアドレス <http://www.ama-net.ed.jp/school/e37/>

## 「正しく怖がる」ことが大事！！



“安全”は、数字で示したり図ったりすることが出来ますが、『安心』は心の問題なので数字では表すことが出来ません。

昨年度、いつの頃からか、「37.5度」という発熱の目安が言われだしました。37.6度だったらダメで、36.4度だったらOKなのです。不思議ですね。

科学的に言うと、1957年に報告された東京大学 田坂定孝先生の研究で、体温は、 $36.89 \pm 0.34^{\circ}\text{C}$ の範囲にあるのは全体の73%だと言われています。これが平熱の範囲、つまり最高37.23度までは、明らかに、平均・平熱なのです。

しかし、平均で言われても、一人一人の体温はそれぞれ違います。ゆとりと誤差を考慮して37.5度を基準にした？ と言うことでしょうか。 たしかに、どこかで線引きをしなければ、世の中は混乱します。実は、感染症法と言う法律では「発熱」は $37.5^{\circ}\text{C}$ 以上、「高熱」は $38^{\circ}\text{C}$ 以上と決められています。「みんなが混乱しないように、いろいろな見方、考え方を持っている人も、一定の基準を決めて守りましょう。」という、安全と安心をつなげるルール作りがなされているんですね。

①科学的基準、Science(サイエンス) → 数字で表す**安全**。

②秩序維持、Compliance(コンプライアンス) → 互いがルールを守る**信頼関係**。

この二つがうまく機能してこそ、**【安心】**につながる生活のあり方だと思います。

自粛警察はまっぴらですが、だらしのないルール違反もごめん被りたいです。しっかり学んで正しい知識のもとに、『正しく怖がる』武庫の里小学校でありたいと願っています。



## 『挨拶の効能 ～街づくり～』



聞いた話です。その昔、若い先生の研修で、元受刑者の人から話を聞く機会があったとのこと。その人は“窃盗犯”でした。空き巣狙いの常習ということで、“どのようなところにねらいをさだめるのか？”と尋ねたところ、「住民が道で挨拶していない街」をねらうとのことでした。

人間関係が希薄で、知らない人間が何をしても気にしないような、そんな街がねらい目だそうです。

反対に、しっかりとした挨拶がある街は、互いに知り合いなので、部外者が入りづらく、住民同士に目配り気配りのある関係性が築かれているので、「危なくて、悪いことは出来ないなあ」と感じてしまうそうです。

**武庫というみんなの街も、武庫の里小という子ども達の街も、挨拶で“悪”を寄せ付けない街にしていきましょう。**



## 6月の行事

1	火	能楽鑑賞6年 放学1・2年	17	木	
2	水	朝礼(TV) 歯科検診1年、さくら・ひまわり	18	金	尿再検査
3	木	放学3～6年	19	土	
4	金	音楽鑑賞6年 短縮時程	20	日	
5	土		21	月	
6	日		22	火	放学1・2年
7	月	クラブ あじさい読書週間(～17日)	23	水	歯科検診6年
8	火	放学1・2年	24	木	放学3～6年
9	水		25	金	短縮時程
10	木	6校時授業日(4～6年)	26	土	
11	金	スポーツテスト2・3年	27	日	
12	土		28	月	委員会活動
13	日		29	火	放学1・2年
14	月		30	水	朝礼(TV) 脊柱側弯症検診(5年、6年一部)
15	火	歯科検診4年 放学1・2年	〈7月の予定〉※行事予定は、状況により変更となる場合があります。 15日(木) 給食最終日 20日(火) 終業式 21(水)～30日(金) 個人懇談		
16	水	さとっこタイム① 歯科検診5年			

## お知らせとお願い

### ◆変更した行事について

5月の学校だよりでお知らせした以下の行事については、緊急事態宣言の再延長により、市から通知のあった感染リスクの高い教育活動の一時停止の観点から1学期中は実施いたしません。ご理解ご協力いただきますようお願いいたします。

- 水泳指導・・・実技をとともう水泳指導については行いません。
- オープンスクール・・・大勢の人の出入りがある行事のため、1学期は中止とします。土曜日設定に向け、ご都合を付けていただいていたことと申します。申し訳ありません。
- 引き渡し訓練・・・引き渡し訓練については1学期に行いませんが、後日配布する引き渡しカードの記入やお知らせ等での確認をしていただき、有事の際にスムーズな対応が行えるようお願いいたします。

### ◆医教連携について

武庫の里小学校では、兵庫県立尼崎総合医療センター小児科 Dr.石原氏、ならびに、同ことも家族支援室MSW(メディカル・ソーシャル・ワーカー)浅井女史と医教連携を行っています。

保護者の了承があれば、病院(医師)と学校(教師)が直接協議して、学校生活での対応や支援をより良く進めていく制度です。医師は学校での様子を知りません。教師は医学的知見を持っていません。保護者は常に間に入って両者の連絡役にならなければいけないので負担が大きく、うまく伝わらないことも多くなります。そこで、保護者と医師と教師で三角形を築き、この中に子どもを入れて、守り育てようという仕組みです。特に、発達特性を心配される方には適当です。今年、Dr.石原が直接来校して、授業の様子などを見て、先生方にアドバイスを下さることになっています。興味のある方は担任を通じて校長までお申し出下さい。